感染症及び食中毒の予防及び まん延の防止のための指針

株式会社Turquoise
神戸ゆいゆいの杜

感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止のための指針

1. 施設における感染対策に関する目的と基本的考え方

障害者・老人福祉施設は、感染症等に対する抵抗力が弱い障害者や高齢者が生活する場であり、こうした利用者が多数生活する環境は、感染が広がりやすい状況にあることを認識しなければなりません。

このような前提にたつて神戸ゆいゆいの杜においては、感染症が発生、又はまん延しないように必要な措置を講ずるための体制を整備することを目的に、感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止のための指針を定め、利用者の安全確保を図ります。

2. 感染対策のための委員会に関する基本方針

(1) 感染対策委員会の設置

神戸ゆいゆいの杜では、感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止のため、感染対策委員会を設置します。

(2) 目的

- ① 施設の課題を集約し、感染対策の方針・計画を定め実践を推進する
- ② 決定事項や具体的対策を施設全体に周知するための窓口となる
- ③ 施設における問題を把握し、問題意識を共有・解決する場となる
- ④ 感染症が発生した場合、指揮の役割を担う

(3) 委員会の構成員とその役割

この委員会の委員長は施設長とします。

また、専任の感染対応策を担当する者を配置します。

必要に応じて、協力医療機関の医師や感染管理認定看護師等に助言を仰ぎます。

(4) 感染対策委員会の開催

委員会は、委員長が招集し、3ヶ月に1回以上の定期会議、感染症が流行する時期等を勘案して必要時に臨時会議を開催します。結果については、介護職員等に周知します。

3. 感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針

全職員を対象に、感染対策の基礎的内容等の適切な知識の普及・啓発をするとともに、神戸ゆいゆいの杜における指針に基づき、衛生管理の徹底や衛生的なケアを行うため、年2回以上研修を行います。また、新規採用者には、採用時に研修を行います。

4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針

感染症の発生状況を把握するために、医療関連感染および感染発生の状況の把握を行います。また、アウトブレイクをいち早く特定し、迅速な対応がなされるよう、感染に関わる情報管理を適切に行います。発生時は委員会が中心となり、発生の原因の究明、改善策の立案、実施を行います。その内容については、感染対策委員会で報告します。

5. 感染発生時の対応に関する基本方針

感染対策マニュアルに沿って手洗いの徹底、個人防護用具の使用など感染対策に常に努めます。疾患及び病態などに応じて感染経路別予防策（接触感染、飛沫感染、空気感染）を追加して実施します。報告が義務付けられている病気が特定された場合には、速やかに保健所に報告します。特定の感染症が集団発生した場合、保健所などと連携を図って対応します。

(1) 平常時の対策

- ① 施設内の衛生管理（環境の整備、排泄物の処理、血液・体液の処理等）
- ② 日常のケアにかかる感染症対策（標準的な予防策）
- ③ 手洗いの基本
- ④ 消毒薬の適正な使用
- ⑤ 早期発見のための日常の観察項目

(2) 発生時の対応

万が一、感染症および食中毒が発生した場合は、「厚生労働大臣が定める感染症または食中毒が疑われる際の対処の手順」に従い、感染の拡大を防ぐため、下記の対応を図ります。

- ① 発生状況の把握
- ② 感染拡大の防止
- ③ 関係機関との連携

- ④ 医療処置
- ⑤ 行政への報告

6. 入居者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針

当該指針の概要や閲覧方法について、利用者等より、要望があれば当該指針を閲覧できるようにします。

7. その他感染対策の推進のために必要な基本方針

(附則)

令和3年 4月 1日 制定